

第36回 全日本U-12フットサル選手権大会

北海道代表決定戦 札幌ブロック大会 開催要項

1. 主 旨 北海道のフットサルの普及・振興のため、小学生年代のフットサル大会を開催し、併せてフットサル技術の向上と健康な心身の育成を図ると共に、JFA バーモントカップ 第36回全日本U-12フットサル選手権大会北海道代表決定戦の札幌ブロック代表として出場するチームを決定する。
2. 名 称 第36回 全日本U-12フットサル選手権大会 北海道代表決定戦 札幌ブロック大会
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
4. 主 管 一般社団法人札幌地区サッカー協会、特定非営利活動法人札幌フットサル連盟
5. 後 援 北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会、札幌市教育委員会、一般財団法人札幌市スポーツ協会
6. 協 力 札幌地区少年サッカー連盟
7. 協 賛 株式会社ミカサ
8. 期 日 2026年3月21日(土) ～ 3月22日(日)
9. 会 場 ○札幌市豊平区体育館
札幌市豊平区月寒東2条20丁目4-15 TEL: 011-855-0791
10. 参 加 資 格
 - (1) フットサルチームの場合
 - ① (公財)日本サッカー協会(以下、「JFA」という。)に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
 - ② 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (2) サッカーチームの場合
 - ① JFAに「4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
 - ② 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (3) 複数チームによる「合同チーム」の本大会参加については、上記(1)または(2)における参加資格を満たしている場合において認めることとする。ただし、合同チームの複数参加については不可とする。
 - (4) 上記(1)と(2)に該当する選手のうち6年生の参加は認めないものとする。
 - (5) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
 - (6) 地区予選を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
 - (7) 下記(公財)北海道サッカー協会(以下、「HKFA」という。)フットサル大会登録料を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
 - ① フットサルチームの場合 登録料 2,000円
 - ② サッカーチームの場合 登録料 4,000円
 - (8) 当該年度の(一社)北海道フットサル連盟(以下、「HFF」という。)に加盟したチーム。(HFF のフットサル年間加盟登録料の振込完了を以って加盟したチームとする。)
11. 参加チーム数 参加チーム数は、札幌地区予選を勝ち抜いた28チームとする。
12. 大会形式
 - (1) 全てノックアウト方式で行う。
 - (2) 準決勝、決勝戦は行わず札幌ブロック4代表までを決定する。
13. 競技規則 大会実施年度のJFAフットサル競技規則による。
14. 競技会規定

以下の項目については、本大会の規定を定める。

 - (1) ピッチサイズは、原則として32m×16m とする。
 - (2) 試合球は、ミカサ製検定球(FS350E-YP)3号ボールとする。
 - (3) 試合には、選手14名以内のエントリーで、交代要員は、9名以内とする。また、ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数2名以内とする。

- (4) ベンチに入ることのできる人数は12名以内(交代要員9名、役員3名以内)とする。
- (5) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5またはその時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (6) ユニフォーム
 - ① JFAのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
 - ② フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。
 - ③ チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものであること。
 - ④ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
 - ⑤ ゴールキーパーが怪我や退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在でかつ準備が整っていない場合に限り、主審の判断により、ゴールキーパーのユニフォームを前述以外のユニフォームで代用することができる。
 - ⑥ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - ⑦ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。ユニフォーム生地に着布等を縫い付けて番号等を掲示(以下、「貼り番」という。)することは原則認めないが、下記⑧および⑨の場合に限り認める。
 - ⑧ 貼り番する場合に、事前に登録されたユニフォームの主たる部分色と同色布地を使用し、四辺が縫い合わされていること。掲示される番号についても事前に登録されたユニフォームに取り付けられた番号色と同色にて掲示するものとする。なお、登録されたユニフォームの主たる部分色が複数色(縦縞・横縞等)である場合は大会運営委員会の判断および決定に従うものとする。
 - ⑨ 上記⑧について、緊急性を要する事情、または突発的な事情により急遽、対応しなければならない事情(貼り番を白布地・黒番号等とする使用)が生じた時は、会場運営責任者の承諾を得た場合のみ上記⑧の適用を除外とすることができる。その際はマッチコーディネーションミーティング(以下、「MCM」という。)時に確認する。会場運営責任者は事後に大会運営委員長に届出すること。
 - ⑩ ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
 - ⑪ 正・副の2色については明確に異なる色とする。
 - ⑫ 主審は、対戦するチームのユニフォームが類似しており判別しがたいと判断した時は、両チーム立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - ⑬ 前項の場合、主審は両チームの各2組のユニフォームから、シャツ、ショーツおよびソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - ⑭ その他、ユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規程に則る。
- (7) 靴: キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が飴色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない)。なお、チーム役員にも適用する。

- (8) ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (9) 試合時間
- ① 全ての試合は、16分間(各8分からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは3分間とする(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始前まで)。
 - ② ベンチ交代は第1ピリオド終了後に行う。
- (10) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)
- ① 勝敗が決定しない時は、PK戦により勝敗を決定する。
 - ② 代表決定戦においては、6分間(各3分間からなる2つのピリオド)の延長戦を行い、決定しない場合はPK戦により勝敗を決定する。
- (11) タイムアウトは、全試合に適用する。
- (12) (競技規則第8条に定められている)キックオフの進め方に関し、本大会ではホームチームは存在しないものとして、対戦表の左(上)側に記載されたチームが、第1ピリオドにピッチに向かって左側のベンチに入り、右側のゴールに攻める。
15. マッチコミッショナー等
- 代表決定戦にマッチコミッショナーおよびすべての試合にマッチウエルフェアオフィサーを配置する。
16. 懲 罰
- (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
 - (2) 本大会の地区予選は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、地区予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
 - (3) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
 - (4) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
 - (5) 前項により出場停止処分を受けたとき、また、本大会の終了時に、警告の累積は消滅する。
 - (6) 本大会終了時点で未消化の出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
 - (7) 本大会の大会規律委員会は、警告の累計2回による退場処分、および出場停止処分1試合までの懲罰問題を処理する。
 - (8) 大会規律委員会の委員長は、本大会の競技委員長とし、委員は2名以上で構成すること。
 - (9) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。
17. 参 加 料 等
- 参加料12,000円・審判不帯同料6,000円(各消費税率10%込)
18. 参 加 申 込
- (1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手20名・役員4名を上限とし、選手は本大会の地区予選に登録していること。ただし、3名を上限に本大会の地区予選から通して登録していない選手を記載できる。その場合、前述の「10.参加資格」に定める条件を満たしていなければならない。
 - (2) 参加申込は、所定の書式(下記7)申込先(A)に記載の a ~ c)を下記5)期日までに申込先(A)宛てに E-mail で送付すること。
親権者同意書を下記7)申込先(B)へ下記5)の期日までに郵送にて提出すること。
※チームは事前に所属地区サッカー協会の申込みアドレスを確認すること。
 - (3) 参加料等は、申込みと同時に下記7)の口座へ納入すること。
 - (4) 親権者の承認印のある親権者同意書を下記5)の期日までに申込先(B)に送付すること。
 - (5) 申込締切日：2026年2月27日(金)17時まで厳守

- (6) 上記(5)申込締切日以降の参加申込書の内容変更について、以下の通りとする。
 所属地区サッカー協会を通じて所定の書式にて提出すること。
- ① 選手の変更は、原則認めない。
 - ② 役員の変更は、2026年3月13日(金)17時まで認める。
- (7) 申込先 (A) (一社)札幌地区サッカー協会事務局
- a 参加申込書(E-mail)
 ※選手およびチームの登録番号を必ず記載のこと。
 - b プライバシーポリシー同意書(E-mail)
 - c 懲罰処分についてのアンケート(E-mail)

大会参加料等振込口座

銀行名： 北洋銀行 東屯田支店

口座番号： 普通 3535541

口座名義： 一般社団法人札幌地区サッカー協会

※振込時に「チーム名」を必ず明記すること。

申込先 (B) 送付先: (公財)北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41

北海道フットボールセンター内

・親権者同意書(郵送) ※チームが対応すること。

※親権者の承認印のある親権者同意書を上記(5)の期日までにHKFA事務局へ郵送にて送付すること。2026年度事業のため、全チーム提出のこと。

19. 組 合 せ 組み合わせは、HKFAフットサル委員会において抽選し決定する。なお、組み合わせ結果はHKFAの公式ホームページにて確認すること。
<https://www.hfa-dream.or.jp/> (大会情報・フットサル)
20. 帯 同 審 判
- (1) JFAフットサル4級以上の資格を有する審判員を2名以上帯同させること。
 - (2) 大会1日目に敗戦したチームに帯同する審判員は、大会2日目の審判業務は原則行わない。
 - (3) 帯同審判員は、チーム役員(監督を含む)を兼ねることができるが、担当する審判業務を優先すること。
 - (3) 1名しか審判員を帯同出来ない時には、審判不帯同料6,000円(税込)を18.参加申込-(7)に掲載している口座に納入すること。(各チーム1名は帯同審判員必須とする)
21. 監 督 会 議 行わない。
22. 開 会 式 開会式は実施しない。
23. 表彰および閉 会 式
- (1) 本大会の4代表には、表彰状およびトロフィーを授与する。
 - (2) 表彰式は、代表決定戦終了後に試合会場にて行う。
24. 負傷および事故の責任
- (1) 大会期間中の負傷および事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師および救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
 - (2) 参加チームはスポーツ保険またはそれに準じた保険(物損等損害賠償が対象となるもの)に加入していること。
 - (3) 競技の如何を問わずチームの行為に起因して施設や用具を破損した場合は、当該チームがその実費を弁償すること。
25. そ の 他
- (1) マッチコーディネーションミーティング(以下、MCMという。)
 当該試合開始50分前(第1試合のみ30分前)に運営スタッフ、両チームの監督および審判員出席のもと行い、代表決定戦においてはJFA認定マッチコミッショナーを配置し以下について行う。
 - (ア) 選手証のチェックを行う(MCMの際、各チーム持参すること)。
 - (イ) FPおよびGKそれぞれの正副2種類のユニフォーム(パワープレーを行うチームはパワープレー用ユニフォームも含む)、競技中に着用するビブス(メーカーは不問。対戦チームのユニフォーム色も考慮し、複数色のビブスの用意があるのが望ましい。)を各色1枚持参すること。両チームのユニフォーム等の色を決定する。

- (ウ) タイムスケジュール、出場停止選手、試合前セレモニーの進行内容、モラル、その他通達事項の遵守などについて確認を行う。
- (2) メンバー提出用紙は、MCM時に提出すること。
- (3) 選手証：各チームの登録選手は、JFA発行の選手証を試合会場に持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。なお、選手証を確認できない選手は、試合の出場を認めない場合がある。
※選手証とは、JFA WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものであり、スマートフォンや PC 等の画面に表示したものは原則として認めない。
- (4) チームの監督は、各試合ともベンチに入ることを義務付ける。ただし、やむを得ない事情により試合当日のベンチ入りができない場合は、速やかに所属地区サッカー協会を通じて、理由および監督代行者(参加申込書に記載された役員の中から選任した者)の氏名を記載した書面を、電子メールによりHKFA事務局へ届け出なければならない。また、不測の事態その他やむを得ない事情により監督が試合当日に欠席する場合は、電話等により会場運営責任者へ連絡すること。会場運営責任者は、その内容について事後に大会運営委員長へ報告するものとする。なお、監督が試合当日に無断欠席した場合は、当該試合は棄権試合とする。
- (5) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
- (6) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (7) 競技中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。スポーツドリンクを摂取する場合は主管の指示に従うこと。
- (8) 本大会にあたっては、以下通知の通りとする。
『新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴う今後のHKFA主催事業について(通知)』
<https://www.hfa-dream.or.jp/wp-content/uploads/2024/03/HKFACOV19Category5Update.pdf>
- (9) 組み合わせ決定後に参加者が参加を辞退した場合、既に支払われた参加料については返却しないこととする。
- (10) 本大会により代表となった4チームには、2026年7月18日～19日に釧路市にて開催されるJFA バーモントカップ 第36回 全日本U-12フットサル選手権大会 北海道代表決定戦への参加を義務づける。
- (11) 本開催要項に記載のない事項については、本大会運営委員会にて決定する。

以 上